

より多くの人が衛生的な水を利用するためには



大島高校 3年 小田切凜心・勝村美祐

研究背景

これまで国際的に行われている医療活動について調べてきて、その結果、水の衛生問題が深刻であると知ったこと。



これまでの研究

国際医療活動を行う団体や医療課題について

研究の動機

・現在の社会情勢から、国際医療の現状や医療課題について興味を持ったこと

・身近に海外で国際医療に携わっていた方がいて、わたしたちも将来医療関係の仕事に就きたいと考えていること

これまでの研究

わかったこと

開発途上国における医療格差が大きい

→原因の一つに水の衛生問題

2020時点で 約20億人が安全な飲み水x

7億7千万人が改善されていない水

引用 <http://www.unicef.or.jp/sowc/>

世界の水の流れ

ウォーターフットプリント

バーチャルウォーターの一つの検討要素

原材料の栽培、生産や製造、加工、輸送、流通、消費、廃棄、リサイクルまでのライフサイクル全体など、モノやサービスで消費の過程における環境への影響を数値化したもの。

世界の水の流れ

バーチャルウォーター（仮想水）

実際に直接利用しているわけではないものの、間接的かつ目には見えない形で利用されている水。

ex) コーヒー1杯125ml ⇒ 132L

ハンバーガー110g ⇒ 1700L

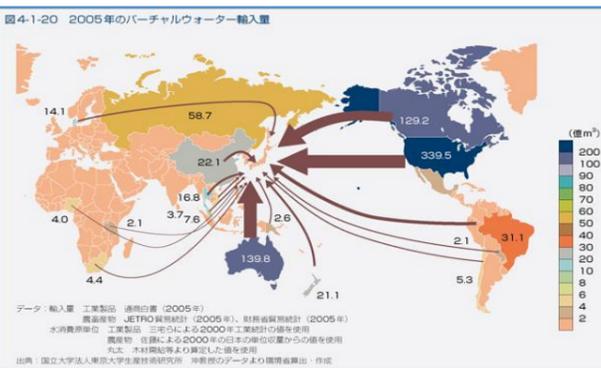


<https://www.wateraid.org/jp/publication/beneath-the-surface>

今回の研究方針

水不足が起こっている国では、衛生環境の悪さから健康状態が悪くなる

↓
水不足を解消するための解決策を考える



平成22年度環境白書 循環型社会白書/生物多様性白書



わかったこと

日本は、食料自給率が低い
→他国から多くの農産物を輸入
=バーチャルウォーターを多く輸入
→水の不均衡を生み出している

今後

バーチャルウォーターと食料自給率の関係、仮想水計算機について紹介したポスターを作成する。

水不足を解消するために

バーチャルウォーターの認知度を高め、食料自給率との関係を知ってもらう

仮想水計算機

→自分たちがどれほど多くの水を消費しているか分かるようになっている

企業の取り組み



H&Mグループ

生産の過程で使用する水の量を25%削減する！

→リサイクルされた水の使用

2023までにすべての材料をリサイクルされた水や持続可能な水で生産する！

世界水の日報告書2019